

これからの“企業ブランド保護”の世界基準 金融詐欺、なりすましメール対策に最適な解決策



※私たちBrandKeeper"ブランドキーパー"は
Google・Digicert主催のパイロットテストに
日本企業として参加を認められた企業です。

新基準のブランディングソリューション

GoogleとDigicertが主導して開発した"新メール標準"

メールメッセージや受信トレイに、送信者のブランドロゴを添付するための新しい規格です。
導入により、企業は電子メールクライアントの「送信者」フィールドの横にブランドロゴを表示でき、Twitterの青いマークや、Instagramの確認済みバッジ同様に、メッセージが開かれる前でも貴社のロゴマークを表示することができます。



リスクマネジメントソリューション事業部のご案内

会社名 株式会社サイバービジョンホスティング

事業部名 リスクマネジメントソリューション(RMS)事業部

所在地

〒 108-0073 東京都港区三田1-2-22 東洋ビル8F

TEL : 03-6732-5476 (直通) /03-6732-5467 (代表)

代表者 古木 一行 (代表取締役)

事業内容

- ・ ホスティングサービス
- ・ セキュリティサービス
- ・ コンサルティングサービス

Digicert 証明書販売サイト : RMS

日本国内第一号正規代理店として2008年よりDigicert証明書の取り扱いを開始。
豊富なナレッジをもとに適切なアドバイスと迅速なサポートにより、高い顧客満足度を獲得。
その功績が認められ、2020年度Digicertアジアパートナー賞を受賞。

The image shows a screenshot of the RMS Digicert website. The main headline reads "digicert 証明書を リーズナブルに 取得できる 正規代理店". Below this, it states "RMSはDigicert (デジサート) SSLサーバ証明書の正規代理店です。Digicertの証明書の取り扱い実績は国内最長で、弊社経由で4,000ライセンス以上の証明書が発行されています。". There are two buttons: "SSLサーバ証明書" and "コードサイン証明書". To the left is a circular badge for "digicert DIGICERT PARTNER OF THE YEAR APAC 2021". To the right is a gold award medal for "2020年度 Digicert アジアパートナー賞 受賞". The website header includes "RMS digicert", "製品・サービス", "サポート", "お問い合わせ", and the phone number "045-548-4656 (18:00~18:00 土日祝日を除く)".

digicert® とは

SSL / TLS サーバ証明書発行数



日本国内で20年以上の実績とノウハウを持つDigicertは、電子証明書における世界のリーディングカンパニーです。
世界180以上の国々で10万社以上の企業に利用されており、世界の暗号化電子商取引の87%を保護しています。



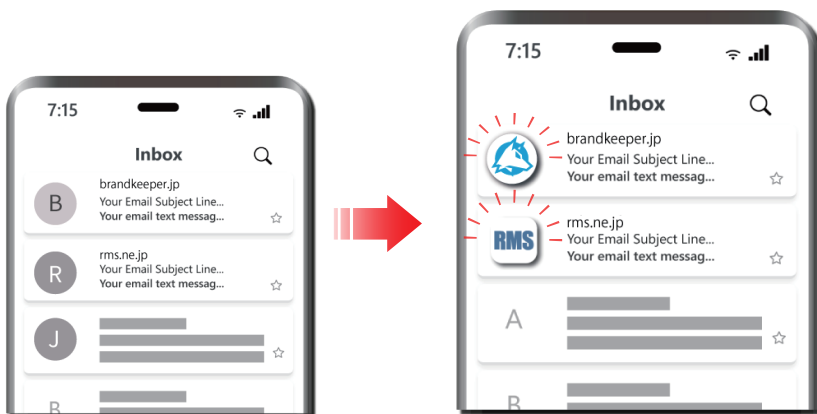
～ BIMI ～メールセキュリティ・ブランディングの新基準

■メール差出人名に、会社・サービスのロゴを表示

メールの信頼性レベルを飛躍的に向上させる、次世代の規格です。
メールのセキュリティを向上させ、ブランド認知度を高める事ができます。
現在、Gmail、YahooMail、および Verizon でサポートする計画があり、
今後メールブランディングの世界基準となる物です。

POINT

- 1、電子メールの**セキュリティ**を向上させるのに大いに役立ちます。
- 2、ブランドロゴがメールメッセージの横に表示され、**ブランドの認知度が高まります**。
- 3、電子メールの**開封率が実際に10%向上した結果**がでています。(※Verizon 調査より)



BIMI は貴社の信頼度とブランド認知度を向上させ、
電子メールの開封率向上を実現させます。

～ DMARC ～なりすましメール対策を強化

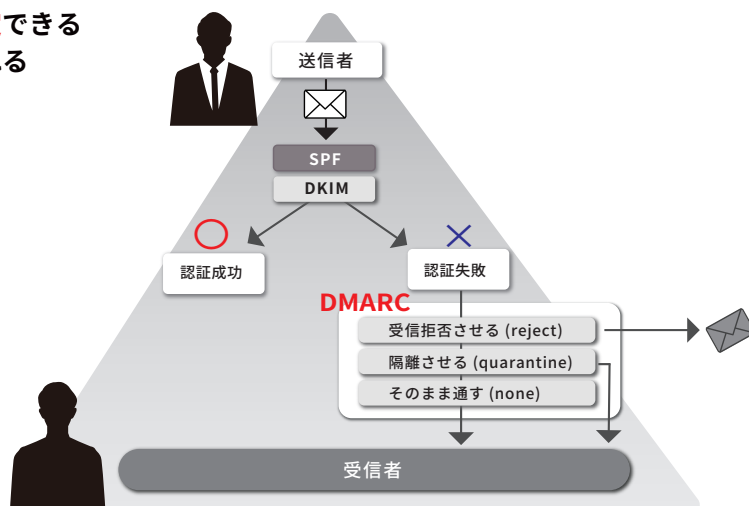
■なりすまし対策のセキュリティ技術

BIMI の利用にあたり、DMARC の導入が必要となります。
DMARC は、なりすましメール対策の技術で、ドメイン認証技術である SPF や DKIM の働きを補強する物です。
SPF や DKIM で認証に失敗したメール (なりすましの可能性が高い) の取り扱いを指定する事ができます。
詳細なレポートを確認し、今後の運用に活かす事で、なりすましメール対策の精度を上げることもできます。

- ・メール送信者が**認証失敗したメールの取り扱いを指定**できる
- ・メール送信者が**認証結果をメール受信者から受け取る**
- ・**第三者署名 (代理署名) を許容しない**

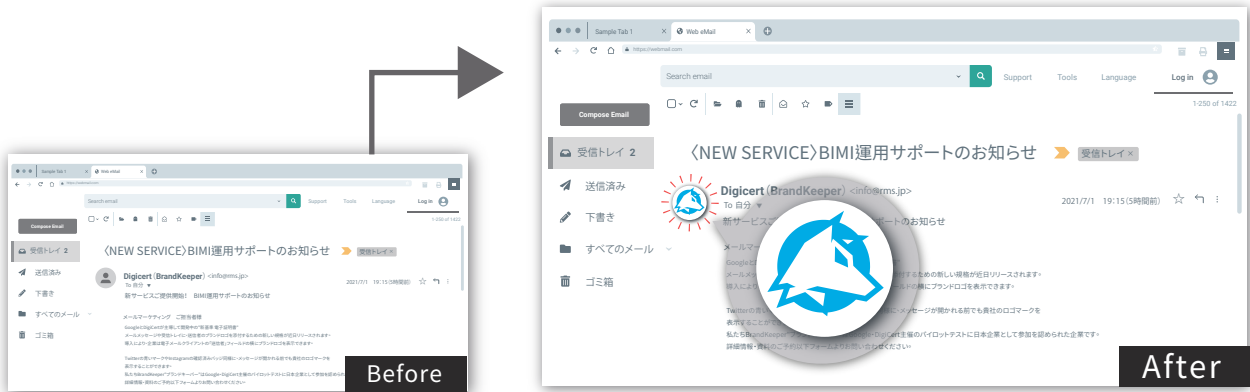
POINT

1. セキュリティが大幅に向上
2. 送信元不明の**フィッシングメールが減少**



■BIMI 用の VMC 証明書を使用し、検証済みのブランドマークを表示

※Verified Mark Certificated/ 認証済みマーク証明書



“BIMI×VMC”が実装されていないドメインから送信された電子メールメッセージには、ブランドロゴが表示されません。

“BIMI×VMC”が有効になっている場合、信頼できるブランドロゴが付いた電子メールメッセージは次のように表示されます。

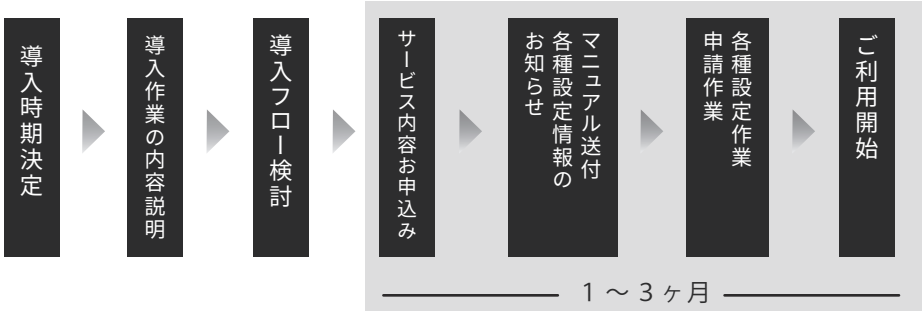
商標登録されたロゴをお持ちのお客様



私たち **BrandKeeper** の専任エンジニアが
ブランドキーパー

“BIMI×VMC” 導入までのフローを「**手厚く、全面サポート**」いたします。

お申込みからご利用開始までの期間は 1～3 ヵ月です。
導入検討の段階で専門のエンジニアがお客様環境に合わせた最適な導入フロー検討をサービスします。



主なサービス内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 商標登録情報、ロゴマークの適合化 ・ SPF 適合化支援 ・ DKIM 適合化支援 ・ DMARC 適合化支援 ・ VMC 取得支援 ・ BIMI 適合化支援 ・ その他導入コンサルティング・サポート
導入後のサポート
<ul style="list-style-type: none"> ・ DMARC 診断レポート ・ DMARC 追加分析 ・ VMC 更新支援 ・ その他運用コンサルティング・サポート

※各サービス内容は導入フロー検討時に、お客様のご希望に合わせてご選定いただけます。

BrandKeeper のサポートフロー

